

さわやか

3つの「あ」 あいさつ あんぜん あとしまつ

【東土狩小学校 教育目標】

個性豊かに、たくましく生きる
子どもの育成

『めざす子ども像』

- 自ら学び表現する子
- 友だちと仲よくする子
- 進んで身体をきたえる子
- ふるさとを愛する子

校長 山口 直哉

卒業・修了おめでとうございます

本校を巣立つ六年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

三年間にわたる新型コロナウイルス感染症の広がり、ようやく終息に向かい始め、日常生活を取り戻されようとしています。今年度は様々な行事や教育活動ができるだけ地域の皆様とともに活動できるよう配慮した一年となりました。児童の皆さんはもとより、保護者・地域の皆様にも、長きにわたるコロナ禍への対応にご理解・ご協力をお願いしてきたことに、深く感謝申し上げます。

このようなコロナ禍の状況ではありましたが、六年生の皆さんは、しっかりと時代の要請に応え、東土狩小学校のリーダーとしての役割を果たしてきました。

学校行事はもちろん、児童会活動や少年団活動、日頃の学校生活の中でも、様々な場面でそのリーダーシップを発揮し、下級生の面倒をよく見て、導いてくれました。

また、六年生の皆さんが大きく成長した証は、発言や行動の一つ一つに、たくさん感じられました。本校で皆さんが積み重ねてきた功績に自信と誇りを持ち、中学校で更なる飛躍を遂げることを私たちは信じています。

私は、今年度の文集 こぶしに「笑う門には福来る！」と書きました。これからの社会は複雑化・多様化する予測困難な時代ともいわれています。皆さんがこれから歩いていく未来は、決して楽なものではありません。しかし、どのような困難にぶつかっても、笑顔を絶やさず、前向きに、ポジティブに物事を考え、自らの判断と、ともに歩いていく仲間との協働で、様々な環境に対応していくことが必要です。「笑顔」は、自分だけでなく、周囲の人たちも幸せにする魔法の力を持っています。その先に、必ず幸福が訪れるはず。このことを決して忘れないでください。

私は、あなた方と出会い、とても幸せに思っています。あなた方を慈しみ、限りない愛情で育ててくださった保護者への感謝の念をもち、またこの学校で出会った仲間と、教え導いてくれた先生方のことは生涯忘れないでください。

次に、一年生から五年生までの皆さん、修了おめでとうございます。四月からは、学年が一つ上がり、それぞれの学年にふさわしい行動や態度が求められます。東土狩小学校がよりよい素敵な学校になるよう、四月に入学する一年生や先生方と一緒に、がんばりましょう。

三名の卒業生、二十一名の在校生の将来に幸せが多いことを願っています。

保護者の皆様、お子様のご卒業・修了、誠におめでとうございます。立派に成長したお子様の晴れ姿を見て、込み上げるものがあるのではないのでしょうか。皆様の、学校やPTA活動等へのご支援、ご協力があったからこそ、本校の教育活動を進めることができたことに感謝しております。アフターコロナの社会情勢で、保護者・地域の皆様には、今後とも学校の応援団としてお力添えをお願いいたします。

～卒業式の式辞より～

6年生を送る会

3月3日(金)に卒業生を送る会が開催されました。5年生以下の在校生が、お世話になった6年生に楽しんでもらおうと、趣向を凝らして色々な出し物を行いました。低学年は「おおきなかぶ」をモチーフにした劇を、中学年は「マジック」を、5年生は「ジェスチャーゲーム」を6年生も交えながら行いました。6年生からもそのお礼として、ものあてクイズを行いました。どの催しも心温まるもので、お互いを思いやるとても素晴らしいものでした。また、子供たちの大きな成長を嬉しく思うと同時に、中学校進学に向けてこれからも応援する保護者からのメッセージがとても感動的でした。



プログラミング教育

3月7日(火)に中央コンピュータサービスの方を講師に



お招きし、全学年でプログラミング教室を実施しました。今回は、レゴ SPIKE を使った学習でしたが、低学年は、レゴの組み立て、中学年と高学年は、タブレットを用いて実際にプログラミングをして組み立てたレゴを走らせるという授業でした。中学年は、思った通りの動きがなかなか出来ず苦労していましたが、高学年になるとプログラムを組むのも格段に早くなり、思い通りに動かすことが出来たようです。ただ楽しいだけではなく、基本的な動きをマスターしたら、どのように動作させるかを、一人一人思考をこらし、あっという間に授業が終了しました。このようなプログラミング的思考(「最適な方法で問題を解決する」ためにはどうすべきか試行錯誤すること)が、これからの社会を生きていく上で重要となっていきます。そんな貴重な体験を行うことが出来ました。

大変お世話になりました

この度の教職員人事異動により、3月をもちまして本校を去ることになりました4名の職員をお知らせいたします。

山口 直哉 校長

この2年間、とっても楽しく過ごさせていただきました。コロナ禍での2年間でしたが、子供たちの安全と安心を確実なものにするため、保護者、地域との共通理解を図りながら、なんとか無事に学校経営が出来たことにホッとしています。自身、複式校での勤務が初めてではありましたが、保護者、地域の皆様の絶大なるご理解とご協力、何より、純粋で明るく元気な子供たちに日々支えられながら教育活動を行うことが出来ました。東土狩小学校で得たご縁とご恩を生涯忘れず、次の学校でも子供たちのために教育活動を推進していきます。東土狩小学校の益々の繁栄を心より祈念し、お礼のご挨拶にかえさせていただきます。本当にお世話になりました。

藤川 晶子 教諭

東土狩小学校に勤務し、6年間はあっという間でした。今年は6年前に担任した1・2年生メンバーが5・6年生になり、再び担任することになった年で、華月さんも加わり、心も体も大きくなった子どもたちの変化や成長をそばで見守ることができたことが、感慨深くとても楽しかったです。今年に限らず、うっかりしていることの多い担任だったので、いつも子どもたちや保護者の皆様に助けてもらい、大変感謝しています。地域の方々にも大変お世話になりました。末筆ながら皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。6年間お世話になりました。ありがとうございました。

日景 康成 教諭

再任用教諭として東土狩小に着任したとき、まさか5年もいるとは想像しませんでした。あまりに居心地が良くて、再任用の全期間を過ごすこととなり、PTA・保護者の皆様には大変お世話になりました。私はこれまで十勝管内で11の小学校に勤務しましたが、そのうち6校が閉校しています。東土狩小学校は何としても残っていただきたいです。

42年間の教職生活の最後をここ東土狩小学校で勤務させていただいたことを、保護者、地域、子どもたち全ての方々には感謝申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

三原 真里菜 学習指導員

学校関係のお仕事をさせて頂く事が初めてで、至らない点も多々あったと思いますが、皆さんに助けて頂き、楽しく仕事をさせて頂く事ができました。

教室やホールから聞こえてくる元気な声や笑い声に、仕事に行く度に元気と癒しをもらっていました。ほとんどが職員室の中での勤務だったのですが、子供たちが校内ですれちがった時などに挨拶や話しかけてくれた事が、とても嬉しかったです。とてもあたたかみのある学校で働かせて頂けて、感謝の気持ちで一杯です。

保護者の皆様、地域の皆様、2年間本当にお世話になり、ありがとうございました。末筆ではございますが、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りいたします。

—4月の行事予定—

- 3日(月) PTA 三役会議
- 7日(金) 準備登校、PTA 三役部長会議
母の部三役会
- 10日(月) 着任式・始業式・入学式
- 11日(火) 給食開始
- 12日(水) 二計測・視力・聴力検査
- 14日(金) 青空安全教室
- 17日(月) 全校参観日
- 18日(火) 全国学力・学習状況調査
- 19日(水) 教育相談
- 20日(木) 児童会任命式・児童会総会
- 21日(金) 内科検診
- 25日(火) 歯科検診